
神ヲ喰ウ者

サンサヴァ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神ヲ喰ウ者

【Nコード】

N0017N

【作者名】

サンサヴァ

【あらすじ】

アラガミに全てを奪われた世界

そこでゴッドイーターとして生きる一人の少年と仲間たちの物語

運命の時

「支部長、照合中のデータベースから新型神機の適合候補者が見つかりました」

「そつか……名は何と言う？」

目の前のモニターに写し出された資料を見て……シックザール支部長は呟く。

「ふむ……早速適合試験を受けて貰うでしょう」

此所はフェンリル極東支部……通称アナグラ

此所に俺、神谷 アユムは招聘された。

なんでも、神機の適合試験をやるそつだ。テレビのコマーシャルとかでよく募集のCMを流してたが……

まさか自分が呼ばれるとは思って無かった。

まあ、そんなこんなで俺は今アナグラの中の一室にいる。

かなり広く、壁にはフェンリルのロゴが描いてあり、所々に傷や焼け焦げた痕がついている。

此所は訓練所か？などと考えていると、スピーカーから声が降って来た。

『ようこそ、フェンリル極東支部へ。君にはこれから適合試験を受けて貰う』

その言葉を聞いて、一気に堅くなる俺
うつつ、すげえ緊張する……

『少しリラックスしたまえ。その方がいい結果が出やすい』

俺の緊張は傍から見ても判るくらいだったらしい。

『心の準備が出来たら、中央のケースに行ってくれたまえ』

いよいよか……

ケースにゆつくりと近付き、窪みに腕を入れる。

ケースの上部が一気に下がり、俺の腕を挟み込んだ。

「つつ……！？ぐつ……うつつ……！！」

形容し難い激痛が俺の腕に走る。

グチャグチャと、何か気持ち悪い音もしている。

これ以上は耐えられない！

そう思った瞬間ケースの上部が開いた。

「くつ……」

腕を見ると、赤い大きな腕輪が装着されている。そして、そこにあった神機を掲げてみる。

すると、神機から何か黒いものが腕輪に向かって伸び、腕輪と繋がった。

正直気持ち悪い。なんだこれ？

『おめでとう。君がこの支部初の「新型」ゴッドイーターだ』

ということとは、これで適合試験は終了ってことか？

『この後は、適合後のメディカルチェックが予定されている。隣りの部屋で待っていてくれたまえ。気分が悪いなどの症状がある場合は、すぐに申し出るように』

「わかりました」

俺もゴッドイーターになっちまったのか……

まあ、なるようになるさ……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0017n/>

神ヲ喰ウ者

2010年10月10日06時22分発行